

平成16年度第2回
外国語教育多様化推進地域連絡協議会

日時： 平成17年2月23日（水） 13：20～16：45

場所： 鹿児島県立鹿児島東高等学校 会議室

目 次

- 1 日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.1
- 2 出席者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.2
- 3 中間報告書の提出について（公文）・・・・・・・・ pp.3-4
- 4 協議等メモ欄・・・・・・・・・・・・・・・・ pp.5-9
- 5 平成16年度高等学校における外国語多様化推進地域事業連絡協議会（東京）

配布資料

- (1) 日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.11
- (2) 出席者一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ p.12
- (3) 事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ pp.13-14
- (4) 事業基礎報告書 神奈川県・・・・・・・・ pp.15-29
大阪府・・・・・・・・ pp.30-39
和歌山県・・・・・・・・ pp.40-46
長崎県・・・・・・・・ pp.47-51
鹿児島県・・・・・・・・ pp.52-55

平成16年度第2回鹿児島県外国語教育多様化推進連絡協議会

1 日 時 平成17年2月23日(水) 13:20~16:45

2 場 所 鹿児島県立鹿児島東高等学校 会議室

3 会 順

- 受 付 (校長室) 13:00~13:15
- (1) 開会行事 13:20~13:30
- ・開会のあいさつ
 - ・学校教育課長あいさつ
 - ・会場校校長あいさつ
 - ・日程説明等
- (2) 授業参観(50分間) 13:40~14:30
- 1年1組 「韓国語会話」
- 授業者: 山下敏裕教諭, チェスンジュ(非常勤講師)
- (3) 協 議(120分間) 14:40~16:40

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| ア 委員長あいさつ | 14:40-14:45 |
| イ 「外国語教育多様化推進地域事業連絡協議会」(東京) 報告及び質疑応答 | 14:45-14:50 |
| ウ これまでの取組及び中間報告書(案) 説明, 協議 | 14:50-16:10 |
| 開陽高校(説明10分, 協議30分) | |
| 鹿児島東高校(説明10分, 協議30分) | |
| エ 来年度の研究へ向けて | 16:10-16:40 |
| ・両校の計画を発表(10分) | |
| ・指導助言(20分) | |

- (4) 閉会行事 16:40~16:45
- ・諸連絡(中間報告書完成, 来年度の予定, 等)
 - ・閉会のあいさつ

平成16年度第2回「鹿児島県外国語教育多様化推進連絡協議会」
(略称「多様化協議会」)

出席者

氏名	所属	職	備考
入佐 信宏	志学館大学	専任講師	大学関係者
新村 恵子	鹿児島女子短期大学	非常勤講師	大学関係者・地域人材
キム・ミーヨン (金 美連)	鹿児島国際大学	非常勤講師	大学関係者・地域人材 (欠席)
キム・ヒョジン (金 孝珍)	県総務部国際交流課	国際交流委員	(欠席)
田之上 貴己	鹿児島東高等学校	学校長	学校関係者
岩屋 秀男	開陽高等学校	学校長	学校関係者
有馬 義秀	県教育庁学校教育課	指導監	県教育委員会

庶務：

県教育庁学校教育課高校教育係 松ヶ野 健

「多様化協議会」に出席する他の教諭（韓国語授業担当者）：

鹿児島東高等学校教諭 山下 敏裕

開陽高等学校定時制教諭 今給黎 俊伸

鹿児島東高等学校非常勤講師 チェスンジュ



事務連絡
平成17年1月14日

鹿児島県教育委員会外国語教育主管課長 殿

文部科学省初等中等教育局国際教育課長
山 脇 良 雄

平成16・17年度高等学校における外国語教育多様化推進地域
中間報告書の提出について（依頼）

高等学校における外国語教育多様化推進地域事業実施要項（平成14年4月1日文部科学省初等中等教育局長決定、平成16年4月1日改正）に基づく中間報告書について、下記により提出願います。

記

- 1 提出書類 平成16年度高等学校における外国語教育多様化推進地域中間報告書（別紙様式）
- 2 提出期限 平成17年3月31日（木）
- 3 その他 封筒表に「外国語教育多様化推進地域中間報告書在中」と朱書きすること。

【本件問い合わせ先】

文部科学省初等中等教育局国際教育課
国際理解教育第一係（菊池・堀口）
TEL：03-5253-4111（内線3479）

(別紙様式)

平成16年度高等学校における外国語教育多様化推進地域中間報告書
(指定期間：平成16年度～平成17年度(第1年次))

- 1 推進地域指定都道府県名
- 2 推進校名
- 3 平成16年度の実践研究
 - ① 実践研究主題
 - ② 研究内容等の取組状況(研究の対象とする英語以外の外国語 ○○語)
 - ③ 研究の成果
- 4 今後の研究計画
平成16年度の研究開発を踏まえて、平成17年度で計画している具体的な研究内容・方法や留意点について記述すること。

※ 作成に当たっての留意事項

- ア A4縦型、横書きで2～3枚程度とする。
- イ 取組状況や研究の成果についての具体的な資料がある場合は添付すること。

第2回「外国語教育多様化推進連絡協議会」資料

鹿児島県立開陽高等学校（定時制課程）

今給黎 俊伸

1 これまでの取り組み及び中間報告

(1) 韓国語基本文例集の作成

本校の韓国語学習者の初級・中級・上級クラスの生徒を対象に韓国語基本文例集を作成した。本校の生徒が使用することを念頭において作成したものだが、内容から考えて韓国語学習をしている全国の高校生が使用しても有効に使用できるものと考えている。

内容は、以下のとおりである。（ページ数109まで）

- ・ 題名「楽しくすらすら覚えられる韓国語基本文例集」
- ・ ①高校生交流会話集
- ・ ②基本文例集50
- ・ ③基本文例解説
- ・ ④基本単語
- ・ ⑤韓国語発音変化のまとめ

本年の2月中に録音までして、今後の学習の補助教材として使用できるようにしたい。

(2) 地域人材の活用について

① 授業での活用

ハングル初級・中級・上級の授業をそれぞれ90分授業で週2回実施しているが、その内1回を鹿児島大学に留学中の韓国人留学生とのチームティーチング形式で授業を実施した。その結果かなりの効果があったと感じている。具体的には発音指導に効果をあげたし、また、私の知らない韓国情報を話題が出るごとに学習者に提供してもらったことなどが挙げられる。

また、この事業の一環として現在ハングル初級の授業で使用している教科書の作成者である入佐信宏さんに1月21日（金）に授業実践をしてもらった。生徒たちの感想は最初はとても緊張したが、とてもわかりやすくしっかりと勉強できたという感想をもらっていた。私自身も基本事項をしっかりと確認・習得させるスタイルの授業から学ぶことが多かった。

② 行事での活用

昨年末に本校で実施した文化祭で「楽しく学ぶハングル」と銘打って、韓国人留学生4人と一緒にハングル（朝鮮半島で使用されている文字のことをハン

グルという)の理解と、簡単な会話を希望者に教えるプログラムを企画した。残念ながら参加者は少なかったが、その中で通信制の生徒が参加し、その生徒はまったくの個人で学習しており(NHKのテレビ講座で独学していた)、発音に自信がないと本人が言っていたが、ハングルもほぼすらすらと読み初級段階の学習者としてはかなりの知識を持っていた。われわれの知らないところで、一人で学習に取り組んでいる高校生がいることを実感したし、今後、なんとか学校では韓国語の授業を受けてなくても韓国語の基本が学べる企画が必要かもしれないし、県内の高校で韓国語の授業を取り入れてくれるよう努力をしていくことが大事だと感じた。

③ 韓国語基本文例集作成時での活用

「楽しくすらすら覚えられる韓国語基本文例集」作成に関して、文字の間違いや、より韓国語らしい表現のアドバイスを受けた。もし、彼らの手助けがなければ間違いの多い文例集になっていた可能性があり、録音までもしようという気にならなかったと思う。

④ 第1回鹿児島県韓国語スピーチ大会に向けての発音指導での活用

本年の2月27日(日)に開陽高校で外国語教育多様化事業の一環として実施予定の、第1回鹿児島県韓国語スピーチ大会に、本校のハングル学習者は全員参加を原則に取り組んでいる。これらの大会に取り組むことで、現在持っている言語能力が向上することを経験的に感じているので、授業時間を通して練習している。また、この授業時間やその他の時間を利用して、韓国からの留学生の力を借りている。

(3)

③ 本年度取り組めなかったこと

① 学習意欲の研究

なかなか重い課題で研究し具体的に提案することができなかった。来年度以降の課題にしたい。

② 授業実践集の作成

基本文例集を作成したが、この基本文例集が授業実践集も兼ね備えている感じもしている。来年度以降、この実践集の作成が意味があるかどうかも含めて検討したい。

③ 講演会の開催

本年度、韓国語学習者を対象に本年の2月27日(日)の第1回鹿児島県韓国語スピーチ大会の時に講演会を計画しようとしたが、時間長の都合で実施できなかった。来年度は当初から念頭において実施できるよう計画したい。

④ 映像資料の教材化

時間の関係で取り組めなかった。来年度以降の課題と考えている。

2 来年度の研究に向けて

(1) 校内での取り組み

- ① 地域人材の活用
- ② 韓国語基本文例集の改訂
- ③ 韓国語学習開始段階における教材の開発（文字学習・基本会話など）
- ④ 映像資料の教材化
- ⑤ 学習意欲の研究

(2) 校外での取り組み

① 県内の高校生に対する「楽しいハングル」講座の実施

可能ならば、県内の希望する高校でハングルの基礎と簡単な会話を骨組みとした講座を企画できないか。90分×2コマの授業なら土曜日か日曜日の半日で計画できる。日本人とネイティブのペアで指導できたらよいと思う。県内の高校に希望をとり希望する日時でそれぞれの高校で実施できないだろうか。予算の枠があるので何校かに限定して実施したらどうだろうか。

② 高等学校韓国朝鮮語ネットワーク全国研修会への参加

本年、関東地方（おそらく神奈川県）で開催予定の高等学校韓国朝鮮語ネットワーク全国研修会へ参加したい。学ぶところ大である。

③ 「韓国語学習の楽しみ」「韓国語と私」「韓国語学習の勧め」（すべて仮称）などの講演会の実施

④ 鹿児島県韓国語スピーチ大会の継続実施

(3) その他

- ① 本年は鹿児島東と開陽定時のみが鹿児島県教委の指定を受けて多様化教育の研究に取り組んだが、来年度は開陽全日も加えて3校体制で取り組むよう希望する。
- ② 本年度は最初の担当者の打ち合わせが遅れ、また第1回「外国語教育多様化推進連絡協議会」の開催も遅れて予算執行が10月末以降ようやくできるという状況であったので、来年度はスタートを早める必要がある。

平成16年度高等学校における外国語多様化推進地域中間報告書 (案)
(指定期間:平成16年度～平成17年度(第1年次))

1 推進地域指定都道府県名 鹿児島県

2 推進校名 鹿児島県立鹿児島東高等学校

3 平成16年度の実践研究

①実践研究主題

- ・英語以外の外国語教育の推進を図るための教育課程上の課題,指導計画及び指導方法などの工夫改善
- ・英語以外の外国語教育の推進を図るための地域人材の活用

② 研究内容等の取組状況(研究の対象とする英語以外の外国語:韓国語)

ア 韓国語における映像・音声教材の研究及びカリキュラムの編成

(ア) 教材選定のためにDVDやCD,書籍を購入した。

(イ) 昨今認知度も高く,また対訳本も出ているドラマなので,「冬のソナタ」を教材化の対象と決定した。

(ウ) 韓国人・日本人の2名を研究員として委嘱し,3名で13回にわたる教材化研究会を持った。

イ 韓国の高校生との相互交流

「平成16年度新世紀国際教育プロジェクト・高校生交流の推進事業」に参加した。

③ 研究の成果

ア 韓国語における映像・音声教材の研究及びカリキュラムの編成

(ア) 「冬のソナタ」教材を使用し,3年生を対象に6回にわたる連続授業を行った。

・「自然な会話ができた」「パンマルを学べてよかった」などの感想を得た。

(イ) 授業の様子を新聞社が取材に来て,報道された。(別添資料)

(ウ) 全20回の内容・指導案・聞き取れた表現・感想を冊子「冬ソナすらすら韓国語 中・上級編」としてまとめ,出版した。(別添資料)

イ 韓国の高校生との相互交流

「平成16年度新世紀国際教育プロジェクト・高校生交流の推進事業」に参加した。

本校生徒2名派遣 8月9日～9月4日

韓国生徒2名受入 1月16日～2月5日

4 今後の研究計画

ア 韓国語における映像・音声教材の研究及びカリキュラムの編成

(ア) 2年目は、ホームページ作成と、今年度作成した映像教材の授業実施の予定

であったが、引き続き映像教材研究としたい。その訳は、

- ・今年度は研究期間が短く、またその教材を使用しての授業が数回で終わってしまったこと
- ・作成教材に文法・語彙の難易度の不統一があること
- ・今回の作成教材が「中・上級編」になったのは、自然な会話体では、初級に現れないパンマルが主体であるためである。1,2年生にも使える敬体表現が多い映像教材を発掘したいこと

などである。

(イ) 地域人材を活用して、教材の録音、CD作成を目指したい。

イ 韓国の高校生との相互交流

来年度も「平成16年度新世紀国際教育プロジェクト・高校生交流の推進事業」に生徒を派遣できることを希望している。